

第4回目評価 治療者 (SVee)

1. 第4回目評価 治療者 (SVee) :副作用の有無



4回目の認知行動療法が終了した後にご記入ください。実施中の患者様に副作用が生じたかどうかを確認していきます。

なお、第1回目から4回目までのすべてのセッションを対象とした評価となります。例えば2回目に有害事象が出ていた場合でも記入をしてください。

ご回答につきどうぞよろしくお願いいたします。

* 1. 評価者のお名前をご記入ください

* 2. 患者様のお名前もしくはIDをご記入ください

* 3. 現在治療中の患者様に、何らかの有害事象が生じましたか？

(* ここでいう有害事象とは、治療との関係の有無は別として、患者様の気分や身体、行動、認知機能、環境などの悪化が見られた場合を指します。)

- はい
- いいえ
- その他 (具体的に)

第4回目評価 治療者 (SVee)

2. 有害事象気分症状



患者様に有害事象が見られたと回答された方に質問です。

* 4. 気分の症状 (抑うつや不安、イライラ、焦燥感など、感情面の症状) が悪化しましたか ?

- はい
- いいえ
- その他 (具体的に)

5. (はいと回答された方は)具体的にはどのような症状でしたか?

6. それはどの程度の症状でしたか?

- 軽症で、ほとんど問題はなかった
- 中等度で、苦痛をともなった
- 重症で、何かしらの対応が必要だった
- とても重症で、何らかの悪い影響が持続した
- きわめて重症で、入院が必要であった、もしくは生命に危険があった。

7. それは以下のどの技法によって生じたと考えられますか? (複数回答可)

- 治療とは関係なく生じた。
- 心理教育
- 症例の概念化
- 認知再構成
- 行動活性化
- スキーマ
- 誘導的質問法
- 問題解決技法
- アサーション
- 曝露技法

その他(具体的に)

8. それは次のうちどれに当てはまりますか? (複数回答可)

- 避けられない事象だった
- 治療上必要な事象だった
- 治療者の技量不足により生じた事象だった
- その他(具体的に)

第4回目評価 治療者 (SVee)

3. 有害事象 身体症状について



* 9. 身体症状 (頭痛などの痛みや倦怠感、胃腸症状、神経症状、睡眠、食欲などのからだの症状)が悪化しましたか?

- はい
- いいえ
- その他(具体的に)

10. (はいと回答された方は) 具体的にはどのような症状でしたか?

11. それはどの程度の症状でしたか ?

- 軽症で、ほとんど問題はなかった
- 中等度で、苦痛をともなった
- 重症で、何かしらの対応が必要だった
- とても重症で、何らかの悪い影響が持続した
- きわめて重症で、入院が必要であった、もしくは生命に危険があった。

12. それは以下のどの技法によって生じたと考えられますか? (複数回答可)

- 治療とは関係なく生じた。
- 心理教育
- 症例の概念化
- 認知再構成
- 行動活性化
- スキーマ
- 誘導的質問法
- 問題解決技法
- アサーション
- 曝露技法

その他(具体的に)

13. それは次のうちどれに当てはまりますか? (複数回答可)

- 避けられない事象だった
 - 治療上必要な事象だった
 - 治療者の技量不足により生じた事象だった
 - その他(具体的に)
-

第4回目評価 治療者 (SVee)

4. 有害事象 行動



* 14. 行動面での変化 (回避行動や、暴力や違法薬物の使用、暴飲暴食、脱抑制による行為、逃走などの問題行動) は見られましたか?

- はい
 - いいえ
 - その他(具体的に)
-

15. (はいと回答された方は)具体的にはどのような症状でしたか?

16. それはどの程度の症状でしたか?

- 軽症で、ほとんど問題はなかった
- 中等度で、苦痛をともなった
- 重症で、何かしらの対応が必要だった
- とても重症で、何らかの悪い影響が持続した
- きわめて重症で、入院が必要であった、もしくは生命に危険があった。

17. それは以下のどの技法によ って生じたと考えられますか？（複数回答可）

- ☐ 治療とは関係なく生じた。
- ☐ 心理教育
- ☐ 症例の概念化
- ☐ 認知再構成
- ☐ 行動活性化
- ☐ スキーマ
- ☐ 誘導的質問法
- ☐ 問題解決技法
- ☐ アサーション
- ☐ 曝露技法

その他(具体的に)

18.それは次のうちどれに当てはまりますか？（複数回答可）

- ☐ 避けられない事象だった
 - ☐ 治療上必要な事象だった
 - ☐ 治療者の技量不足により生じた事象だった
 - ☐ その他(具体的に)
-

第4回目評価 治療者 (SVee)

5. 有害事象 認知機能



19.認知機能の変化（集中力の低下や健忘、解離、思考制止などの認知機能の悪化）は見られましたか？

- ☐ はい
 - ☐ いいえ
 - ☐ その他(具体的に)
-

20. （はいと回答された方は）具体的にはどのような症状でしたか？

21. それはどの程度の症状でしたか？

- 軽症で、ほとんど問題はなかった
- 中等度で、苦痛をともなった
- 重症で、何かしらの対応が必要だった
- とても重症で、何らかの悪い影響が持続した
- きわめて重症で、入院が必要であった、もしくは生命に危険があった。

22. それは以下のどの技法によって生じたと考えられますか？（複数回答可）

- 治療とは関係なく生じた。
 - 心理教育
 - 症例の概念化
 - 認知再構成
 - 行動活性化
 - スキーマ
 - 誘導的質問法
 - 問題解決技法
 - アサーション
 - 曝露技法
 - その他(具体的に)
-

23. それは次のうちどれに当てはまりますか？（複数回答可）

- 避けられない事象だった
- 治療上必要な事象だった
- 治療者の技量不足により生じた事象だった
- その他(具体的に)

6. 有害事象 環境



* 24. 環境面の変化（家族や職場における人間関係の悪化や、職や学業など社会的立場の喪失、治療関係の悪化なども含む）は見られましたか？

- はい
- いいえ
- その他(具体的に)

25. (はいと回答された方は)具体的にはどのような症状でしたか？

26. それはどの程度の症状でしたか ？

- 軽症で、ほとんど問題はなかった
- 中等度で、苦痛をともなった
- 重症で、何かしらの対応が必要だった
- とても重症で、何らかの悪い影響が持続した
- きわめて重症で、入院が必要であった、もしくは生命に危険があった。

27. それは以下のどの技法によって生じたと考えられますか？（複数回答可）

- 治療とは関係なく生じた。
- 心理教育
- 症例の概念化
- 認知再構成
- 行動活性化
- スキーマ
- 誘導的質問法
- 問題解決技法
- アサーション
- 曝露技法

その他{具体的に}

28. それは次のうちどれに当てはまりますか? (複数回答可)

- 避けられない事象だった
 - 治療上必要な事象だった
 - 治療者の技量不足により生じた事象だった
 - その他(具体的に)
-